

# 障害の「害」の字の記載について

## 1 これまでの当事者からの声

よみうりしんぶん せいさく  
読売新聞への政策  
こうほう む ちじ  
広報に向けた知事と  
しょうがいとうじしゃ かいだん  
障害当事者の会談  
れいわ ねん がつ にち  
(令和4年11月29日)

- ・「障がいの社会モデル」の観点からすると、社会の側に「障害」があると捉えられるため、ひらがなの「障がい」ではなく、漢字の「障害」で記載すべきとの意見があった。

せきくしんぎかい  
施策審議会

- ・漢字の「障害」とひらがなの「障がい」の両方が混在し、統一性が無いことで、県の計画や刊行物等が「読みにくい、わかりにくい」となることが問題である。
- ・「障がい」とひらがなにすることによって、パソコンの音声認識等のソフトで弾かれてしまうため、漢字にしてほしい。

## 2 神奈川県かながわけんの状況じょうきょう

- 県けんが発行はっこうする文書ぶんしょ、刊行物等かんこうぶつとうは「障がいしょうがい」の表記ひょうきが多いが、法令等おほほうれいとうの名称めいしょうや法令ほうれい等に定められている用語ようごなどが漢字表記かんじひょうきの場合、機関名等きかんめいなど固有名詞こゆうめいしが漢字表記かんじひょうきの場合ばあいは「障害しょうがい」と漢字表記かんじひょうきとしているため、「障がいしょうがい」と「障害しょうがい」が混在こんざいしている。
- 「神奈川県かながわけん当事者目線とうじしゃめせんの障害福祉推進しょうがいふくしすいしん条例じょうれい～ともに生きる社会いしゃかいを目指して～」で漢字表記かんじひょうきとしたため、本条例ほんじょうれいに基づく基本計画もときほんけいかくでは漢字表記かんじひょうきとしている。

## 3 今後の方向性こんごほうこうせい

- 「障害しょうがい」の表記ひょうきについて、「障害しょうがい」、「障碍しょうがい」、「障がいしょう」のそれぞれの表記ひょうきに対して、関係者かんけいしゃの見解けんかいは一致いっちしていない状況じょうきょう。
- 全庁的ぜんちょうてきな表記ひょうきについては、障害当事者部会しょうがいとうじしゃぶかいにおいて、御意見ごいけんを伺うかがった上で、方向性ほうこうせいを決めていくこととしたい。

さんこう  
<参考>

くに どうこう  
国の動向

へいせい ねん がつ にち  
平成22年12月17日  
しょう しゃせいどかいかくすいしん  
障がい者制度改革推進  
かいぎ  
会議

しょうがいしゃせいどかいかく すいしん だいにじいけん しょうがい ひょうき けんかい  
「障 害 者 制 度 改 革 の 推 進 の た め の 第 二 次 意 見」 だ、 「 障 害 」 の 表 記 に つ い て は 、 見 解 の  
いっち げんじてん あら とくてい ひょうき けつてい こんなん ほんだん  
一 致 を み な か っ た 現 時 点 に お い て 新 た に 特 定 の 表 記 に 決 定 す る こ と は 困 難 で あ る と 判 断 せ ぎ  
え ほうれいとう しょうがい ひょうき とうめん げんじょう しょうがい もち  
る を 得 な い 。 「 法 令 等 に お け る 「 障 害 」 の 表 記 に つ い て は 、 当 面 、 現 状 の 「 障 害 」 を 用  
い る 。 」 と さ れ た 。

へいせい ねん がつ にち  
平成24年12月17日  
しょうがいしゃせいさくいいんかい  
障 害 者 政 策 委 員 会

しん しょうがいしゃきほんけいかく かん しょうがいしゃせいさくいいんかい いけん ほうせいじょう しょうがい  
「 新 「 障 害 者 基 本 計 画 」 に 関 す る 障 害 者 政 策 委 員 会 の 意 見 」 だ、 「 法 制 上 の 「 障 害 」  
ひょうき あ かた しょうがいしゃけんりじょうやく あたら しょうがい かんが かた ふ  
の 表 記 の 在 り 方 に つ い て は 、 障 害 者 権 利 条 約 に お け る 新 し い 障 害 の 考 え 方 を 踏 ま え つ  
こんご こくみん とく しょうがいとうじしゃ いこう ふ けんとう  
つ 、 今 後 の 国 民 、 特 に 障 害 当 事 者 の 意 向 を 踏 ま え て 検 討 す る 。 」 と さ れ た 。

へいせい ねん がつ にち  
平成30年11月22日  
ぶんかしんぎかいこくごぶんかかい  
文 化 審 議 会 国 語 分 科 会

げんこう じょうようかんじひょう せいかく ちほうこうきょうだんたい じんかん そしき ひょう がい もち  
「 現 行 の 常 用 漢 字 表 の 性 格 が 地 方 公 共 団 体 や 民 間 の 組 織 に お い て 、 表 に な い 「 碍 」 を 用  
ひょうき どう さまた かんが かた もと ひょうき もち  
い て 表 記 す る こ と 等 を 妨 げ る も の で は な く 、 そ れ ぞ れ の 考 え 方 に 基 つ い た 表 記 を 用 い る こ  
かのう けんかい しめ  
と が 可 能 で あ る 。 」 と の 見 解 が 示 さ れ た 。

れいわ ねん がつ 日  
令和3年3月12日  
ぶんかしんぎかいこくごぶんかかい  
文 化 審 議 会 国 語 分 科 会

がい じ ただ じょうようかんじひょう ついか がい あつか じょうようかんじひょう  
「 碍 」 の 字 を 直 ち に 常 用 漢 字 表 に 追 加 す る こ と は し な い が 、 「 碍 」 の 扱 い を 常 用 漢 字 表 に  
かだい ひと とら しゅつげんひんど しょうじょうきょう かんじ かん こくみん いしき  
お け る 課 題 の 一 つ と 捉 え 、 出 現 頻 度 な ど の 使 用 状 況 や こ の 漢 字 に 関 す る 国 民 の 意 識 を  
ちょうき こくごしきく かんてん ひ つづ どうこう ちゅうし しょうがい ひょうき かん  
調 査 す る な ど 、 国 語 施 策 の 観 点 か ら 、 引 き 続 き 動 向 を 注 視 し て い く 。 「 「 障 害 」 の 表 記 に 関  
とうじしゃ ちゅうしん ぎろん すす きたい みまも こくごしきく かんてん  
し て は 当 事 者 を 中 心 と し た 議 論 が 進 む よ う 期 待 し な が ら 見 守 り つ つ 、 国 語 施 策 の 観 点 か ら も  
ようごぜんばん かん かだい ひろ かいけつ かんが かた せいり けんとう  
用 語 全 般 に 関 す る 課 題 を 広 く 解 決 し て い く た め の 考 え 方 を 整 理 で き な い か 検 討 す る 。 」 と の  
けんかい しめ  
見 解 が 示 さ れ た 。